

令和5年度

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果報告書

令和5年8月

武蔵野市



次のとおり、武蔵野市公の施設のモニタリング評価を行ったので報告する。

1 評価対象期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日（令和4年度）

2 評価対象施設等

No	対象施設	指定管理者	施設主管課
1	武蔵野市立武蔵野公会堂	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団	市民活動推進課
2	武蔵野市立武蔵野市民文化会館		
3	武蔵野市立武蔵野芸能劇場		
4	武蔵野市立武蔵野スイングホール		
5	武蔵野市立吉祥寺美術館		
6	武蔵野市立松露庵		
7	武蔵野市立吉祥寺シアター		
8	武蔵野市立かたらいの道市民スペース		
9	武蔵野市立武蔵野商工会館市民会議室（ゼロワンホール）	武蔵野商工会議所	産業振興課
10	武蔵野市立自然の村	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団	児童青少年課
11	武蔵野市立0123吉祥寺	公益財団法人 武蔵野市子ども協会	子ども子育て支援課
12	武蔵野市立0123はらっぱ		
13	武蔵野市立高齢者総合センター(社会活動センター)	公益財団法人 武蔵野市福祉公社	高齢者支援課
14	武蔵野市立高齢者総合センターデイサービスセンター		
15	武蔵野市立北町高齢者センター（小規模サービスハウス）		
16	武蔵野市立北町高齢者センターコミュニティケアサロン		
17	武蔵野市桜堤ケアハウス	社会福祉法人 武蔵野	障害者福祉課
18	武蔵野市立みどりのこども館		
19	武蔵野市障害者福祉センター		
20	武蔵野市放課後等デイサービス施設（パレット）		
21	武蔵野市立武蔵野陸上競技場	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団	生涯学習スポーツ課
22	武蔵野市立武蔵野軟式野球場		
23	武蔵野市立武蔵野庭球場		
24	武蔵野市立武蔵野総合体育館		
25	武蔵野市立緑町スポーツ広場		
26	武蔵野市立武蔵野プール		
27	武蔵野市立武蔵野温水プール		
28	武蔵野市立ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス		
29	武蔵野市立吉祥寺図書館		図書館

3 評価方法 下記資料を基に評価を行った。

なお、令和4年度よりモニタリング評価手順、様式が変更されている。

評価	書類	書式	備考
一次評価※	評価シート	様式1	
	評価項目シート	様式2	指定管理者は様式2-1、 主管課は様式2-2を使用する。
二次評価	武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果	様式5	一次評価で作成した様式1、様式2や利用者満足度(様式4を参照)、利用状況等を根拠に行う。

※評価項目に対応する事項がない場合は評価対象から除くため、配点の合計点は施設により異なる。

4 施設ごとの総合評価の判断基準

評価レベル	評価基準
S	期待以上の非常に優れた成果をあげている。
A	期待以上の優れた成果をあげている。
B	期待どおりの適正な運営が行われている。
C	期待する水準に達しておらず、改善が必要である。
D	期待する水準から遠く、相当な改善が必要である。

なお、評価結果にある用語の意味は次のとおりである。

「総合満足度の指数」：利用者アンケート調査結果の総合満足度の「満足」と「おおむね満足」の合計から「不満」と「やや不満」の合計を差し引いた数値

「利用率」：各施設の利用可能回数(操業数)における利用回数の割合

5 評価委員会委員名簿

委員	鵜川 正樹	外部有識者(公認会計士)
〃	石川 知穂	外部有識者(中小企業診断士)
	小島 一隆	武蔵野市総合政策部行政経営担当部長
〃	一ノ関 秀人	武蔵野市総務部長
〃	樋爪 泰平	武蔵野市財務部長

## 6 モニタリング評価結果の概要

対象 29 施設に対し、モニタリング評価委員会の意見・助言を踏まえモニタリング評価を実施した結果、以下のとおり、総じて適正かつ良好な管理運営がなされていることが確認された。

<評価結果一覧表>

No.	評価対象施設	令和5年度 評価結果	令和4年度 評価結果
1	武蔵野市立武蔵野公会堂	B	B
2	武蔵野市立武蔵野市民文化会館	A	A
3	武蔵野市立武蔵野芸能劇場	B	B
4	武蔵野市立武蔵野スイングホール	B	B
5	武蔵野市立吉祥寺美術館	A	A
6	武蔵野市立松露庵	B	B
7	武蔵野市立吉祥寺シアター	A	A
8	武蔵野市立かたらいの道市民スペース	B	B
9	武蔵野市立武蔵野商工会館市民会議室	B	B
10	武蔵野市立自然の村	B	B
11	武蔵野市立0123吉祥寺	A	A
12	武蔵野市立0123はらっぱ	A	A
13	武蔵野市立高齢者総合センター(社会活動センター)	A	A
14	武蔵野市立高齢者総合センターデイサービスセンター	A	S
15	武蔵野市立北町高齢者センター(小規模サービスハウス)	B	B
16	武蔵野市立北町高齢者センターコミュニティケアサロン	S	S
17	武蔵野市桜堤ケアハウス	B	B
18	武蔵野市立みどりのこども館	S	S
19	武蔵野市障害者福祉センター	B	B
20	武蔵野市放課後等デイサービス施設(パレット)	A	B
21	武蔵野市立武蔵野陸上競技場	B	B
22	武蔵野市立武蔵野軟式野球場		
23	武蔵野市立武蔵野庭球場		
24	武蔵野市立武蔵野総合体育館		
25	武蔵野市立緑町スポーツ広場		
26	武蔵野市立武蔵野プール	B	B
27	武蔵野市立武蔵野温水プール		
28	武蔵野市立ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス	A	S
29	武蔵野市立吉祥寺図書館	A	B

※網掛け部分は、前年度の評価から変更となった部分、または今年度から評価対象となった施設を示しています。

# 武蔵野市公の施設のモニタリング 評価結果（施設別）

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No. 1 武蔵野市立武蔵野公会堂	
主管課	市民部 市民活動推進課	
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団	
一次評価結果	〈指定管理者〉 76.8/100	〈主管課〉 68.0/100
アピール点	<p>* 吉祥寺駅に近く、公共交通機関によるアクセスが良いため、多くの方からの問い合わせがある。当施設を利用したことがない方からの問い合わせには、バリアフリー対応状況等、ご理解いただいたうえで使用申込みをいただけるよう、丁寧な説明を心がけている。*ホール、会議室、和室があり、様々な用途、人数の利用に柔軟に対応できる施設であり、利用内容を丁寧に聞き取り、適切な施設を案内している。</p> <p>* 吉祥寺駅周辺帰宅困難者対策訓練への参加など、地域全体の安全性確保への協力を実施している。</p> <p>* 防災備蓄品を保管し、駅周辺の防災の拠点となっており、訓練時や被災地への支援時など備蓄品の運び出しなどがある際は、施設としても駐車場の利用調整など協力している。</p> <p>* 市の社会実験等の実施について適切な協力をした。</p>	
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応
	<p>* 新型コロナウイルス感染症が流行する中、利用者の安全を第一に考え各種ガイドラインに即した臨機応変な対応をし続けていることは評価できるが、吉祥寺駅至近に立地する強みを生かし、若年層にアプローチするなど、引き続き施設使用率のさらなる向上に努めていただきたい。</p> <p>* 総合満足度の指数は令和3年度45.6（令和2年度55.4）と大きく下げている。施設の老朽化が進み、例年同様、施設面での課題が満足度を押し下げている傾向はあるものの、その他の項目でも評価が下がっていることから要因分析を行い、改善方法を検討いただきたい。</p>	<p>* ロビー前スペースでの行事開催案内、利用団体イベントの広報物配架のほか、ホームページのリニューアルを機に公会堂の単独ページを開設し、情報提供の拡大を図った。</p> <p>* 設備の故障、不具合については日々の点検等において適宜是正し、改修・交換等が必要なものについては市と共有し、必要な対応を行い、職員手作りの掲示を加えるなど、使いやすさの向上を図り、総合満足度は55.1%に回復した。</p>
利用者満足度	〈利用者アンケートの総合満足度〉 55.1%	
	<p>* 総合満足度は「満足」「概ね満足」が5ポイント上昇し、令和4年度の45.6%から大幅に上昇した。</p> <p>* 「職員の対応」の項目では2年連続で評価を下げていたが、評価が回復し、全項目で4点を上回り高い満足度を得ている。</p> <p>* 「情報の提供」の項目では情報の入手方法についての満足度が10%近く上昇しており、インターネットの情報提供の充実などの成果が見られる。</p>	

施設利用状況	開館日数	308日			対前年度比較	
	施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減
	ホール	763	521	68.3%	58.2%	10.1
第1会議室	873	598	68.5%	52.2%	16.3	
第2会議室	885	513	58.0%	54.2%	3.8	
第3会議室	786	404	51.4%	46.2%	5.2	
第4会議室	856	354	41.4%	33.9%	7.5	
第5会議室	887	499	56.3%	50.3%	6.0	
第6会議室	905	317	35.0%	31.2%	3.8	
和室(1)	902	405	44.9%	38.1%	6.8	
和室(2)	901	445	49.4%	46.7%	2.7	

評価対象年度	今回(令和4年度)	(令和3年度)	(令和2年度)
総合評価	B	B	—
総括 (総合評価の理由)	<p>* 総合満足度の指数は令和4年度 55.1 (令和3年度 45.6) と大幅に回復した。職員の対応についても10%以上評価が上がった。</p> <p>* 他の施設と比較しても施設の老朽化の影響が大きいにも関わらず、徹底した保守や点検を続けており、トラブルを発生させていないことから適正に管理が行われた。</p>		
評価すべき点	<p>* ホームページの単独ページの開設、施設別 SNS による情報発信、館内掲示の工夫など利用者への情報提供の拡大を図った。</p> <p>* インターネット予約の導入、キャッシュレス決済の導入など利用者の利便性の向上に努めた。</p> <p>* 帰宅困難者対策訓練への参加のほか、企画調整課による社会実験にも協力し、吉祥寺駅周辺の基幹施設としての役割を果たしている。</p>		
改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項	<p>* 吉祥寺駅至近に立地する強みを生かし、若年層にアプローチするなど、引き続き施設使用率のさらなる向上に努めていただきたい。</p> <p>* 老朽化した施設であるため、館内の安全確保、保守点検を引き続き徹底されたい。</p>		



武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No. 2 武蔵野市立武蔵野市民文化会館	
主管課	市民部 市民活動推進課	
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団	
一次評価結果	<指定管理者> 82.4/100	<主管課> 77.6/100
アピール点	<p>* 新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種会場として展示室が使用されるにあたって、積極的に支援した。</p> <p>* 政府の水際対策の状況により外国人アーティストが来日できない場合、国内アーティストに切り替えるなど柔軟に対応した。</p> <p>* ジュニアプロデューサーMUSASHINO など子どもたちが芸術文化への理解を深める取組みを続けた。</p> <p>* NHKと連携した「クラシック倶楽部」収録のほか、落語公演「日本の話芸」収録を実施する事で、ホールの認知度向上につなげた。</p> <p>* 公募市民による「武蔵野市友好と平和の第九」公演を指揮者の曾我大介氏との連携で開催した。</p> <p>* 生涯学習振興事業団と文化事業団との合併を契機に他分野との連携を深め、市民文化会館ロビーではプレイス市民活動に関する動画を放映し、公演以外にも施設を訪れる機会の提供に努めた。</p>	
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応
	<p>* 承認書を渡す際に取り違えが発生した件につき、再発防止のため新たな事務フローの手順化や窓口対応に関する研修を実施されたい。</p> <p>* 利用者の安全を第一に考え各種ガイドラインに即した臨機応変な対応を続けていることは評価できるが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策として利用制限している施設について、従前の利用方法に戻していけるような方法を模索し、市民の文化的活動の再開支援に努めていただきたい。</p>	<p>* 当該事件を機にコンプライアンス研修を開始、実務上も本人確認の実施手順など事務フローを再度徹底するとともに、システム改修にも対応したマニュアルの更新を実施した。</p> <p>* 利用条件は国・都・市の方針や業種別ガイドライン等に合わせ市と連携しながら段階的に緩和を進め、文化的活動の再開支援に努めた。</p>
利用者満足度	<利用者アンケートの総合満足度> 91.3%	
	<p>* 総合満足度について「満足」が51.1%と前年度より13.7ポイント減少したが、「概ね満足」も含めると、93%と前年度より2.5ポイントの減少に留まり、引き続き非常に高い満足度を得ている。</p> <p>* 全項目において「やや不満」以下の評価は昨年同様少ないが、情報の提供を除く全項目で「満足」が減少し、「概ね満足」が増加している点については、今後評価の低下につながらないよう留意する必要がある。</p>	

施設利用状況	開館日数	307日			対前年度比較	
	施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減
	大ホール	765	588	76.9%	61.5%	15.4
	小ホール	734	609	83.0%	80.3%	2.7
	第1リハーサル室	867	655	75.5%	34.8%	40.7
	第2リハーサル室	867	655	75.5%	45.3%	30.2
	展示室A	849	369	43.5%	53.8%	-10.3
	展示室B	852	483	56.7%	53.8%	2.9
	第1会議室	866	480	55.4%	56.7%	-1.3
	第2会議室	847	400	47.2%	43.3%	3.9
	茶室	855	371	43.4%	16.2%	27.2
	第1和室	855	365	42.7%	28.4%	14.3
	第2和室	855	304	35.6%	27.8%	7.8
	第1練習室	843	759	90.0%	86.8%	3.2
	第2練習室	843	751	89.1%	83.0%	6.1
	第3練習室	843	749	88.8%	86.4%	2.4

評価対象年度	今回（令和4年度）	（令和3年度）	（令和2年度）
総合評価	A	A	—
総括 （総合評価の理由）	<p>* 総合満足度の指数は令和4年度 91.4（令和3年度 94.9）となっており、減少したものの、引き続き高い満足度が得られており、期待以上の運営が行われた。</p> <p>* アウトリーチ事業の実施など積極的な取組みが伺え、多方面との連携による多様な事業を展開しており、期待以上の運営が行われた。</p>		
評価すべき点	<p>* 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により外国人アーティストが来日できない場合、国内アーティストに切り替えるなど柔軟かつ積極的に公演事業を実施し、市民に芸術文化を届けた。</p> <p>* 子どもを対象として「ジュニアプロデューサーMUSASHINO」など、幅広い世代を対象とした多様な事業を展開している。</p> <p>* 国際オルガンコンクールの開催1年前事業として「お絵かきワークショップ」や「U25オルガンコンサート」「マラソンコンサート」「ジュニアプロデューサー公演」を相次いで展開、開催に向け機運醸成に努めている。</p> <p>* インターネット申し込みによる抽選の導入、キャッシュレス決済の導入など利用者の利便性の向上に努めた。</p>		
改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項	<p>* 国際オルガンコンクール開催年として、より発展した事業を実施されたい。</p>		

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No.3 武蔵野市立武蔵野芸能劇場				
主管課	市民部 市民活動推進課				
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団				
一次評価結果	〈指定管理者〉 76.0/100		〈主管課〉 66.4/100		
アピール点	<p>* 駅ホームから芸能劇場が接近して見えることを活用し、小ホール窓に会議等の活用を呼び掛ける案内ポスターを貼り、施設のPRと利用促進を行った。</p> <p>* 令和4年11月には武蔵野消防署長より「防火管理業務協力功労」感謝状を授与された。</p> <p>* 令和4年8月より公平性と効率性の向上のためインターネットによる申し込みと抽選を導入した。また、窓口キャッシュレス決済支払いを導入した。</p> <p>* 市と連携し、ワクチン接種など急な公共的需要の受け入れや、空き状況に応じて、ワクチン会場となった他施設の予約者の受け入れなどにも柔軟に対応した。</p>				
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項		指摘事項への主な対応		
	<p>* 「職員の対応」は全項目とも平均点が低下している。満足の割合が低下し、不満の割合が増加しているため、職員・スタッフ全体の問題として、要因を分析し、接遇等について見直し、回復に努めていただきたい。</p>		<p>* 初めての利用者が増加し、利用方法等の説明不足が要因と捉え、受付受託事業者も含めたスタッフの意見交換を行い、苦情対応マニュアルの整備を行うとともに、接遇の改善を心掛けた。</p>		
利用者満足度	〈利用者アンケートの総合満足度〉 75.0%				
	<p>* 令和3年度72.3%から2.7ポイント増加したが、項目別では全項目で平均点が下がっている。</p> <p>* 「情報の提供」の項目は「満足」「概ね満足」の割合が他項目と比較して低い。</p> <p>* 「建物・設備・備品等の管理」については満足度が80%以上を超えており適正に管理ができています。</p>				
施設利用状況	開館日数		307日		対前年度比較
	施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率 増減
	小劇場	718	605	84.3%	66.5% 17.8
	小ホール	735	516	70.2%	45.8% 24.4

評価対象年度	今回（令和4年度）	（令和3年度）	（令和2年度）
総合評価	B	B	—
総括 （総合評価の理由）	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 総合満足度は令和4年度 75.1（令和3年度 72.3）と前年度に比較し、微増しており、堅実な事業運営がなされた。</li> <li>* 帰宅困難者一時滞在施設として訓練への参加やワクチン接種など急な公共的需要の受け入れを行った。</li> </ul>		
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 帰宅困難者一時滞在施設受け入れマニュアルを作成したこと、武蔵野消防署長から「防火管理業務協力功労」感謝状を授与されたことなどから防災、安全安心に対する積極的な取組みを評価する。</li> <li>* インターネット予約の導入、キャッシュレスシステムの導入など利用者の利便性の向上に努めた。</li> </ul>		
改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「職員の対応」の満足度の向上に努められたい。</li> <li>* 「情報提供」の満足度を高める工夫をされたい。</li> </ul>		

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No.4 武蔵野市立武蔵野スイングホール	
主管課	市民部 市民活動推進課	
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団	
一次評価結果	<指定管理者> 81.6/100	<主管課> 69.6/100
アピール点	<p>* 武蔵境駅至近の立地、ジャンルを問わない利用が可能である特性を活かして、プロ演奏家や落語、乳幼児や親子向け等多様な自主事業を実施した。</p> <p>* 貸館事業においても同様に幅広い要望があり、分割利用可能なレセプションルームと会議室を加え多彩な利用形態が可能であることが周知されている。</p> <p>* 限られた職員による勤務時間分担により、全員が揃うことが少なく随時情報を共有することが困難なため、共有システム上に職員連絡ノートを作成して確認済欄も設け、利用者対応に齟齬が生じない体制を構築した。</p>	
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応
	<p>* ホール以外の利用率がコロナ前と比較し低い状態が続いているため、新しい生活様式に対応した利用方法を模索するなど、回復に努めていただきたい。</p> <p>* デジタルサイネージの効果的な活用により館内での情報を取得については一定の改善が見られるが、「情報の提供」に関する評価は昨年度に比較し、あまり改善が見られないため、より一層情報の提供に努めていただきたい。</p>	<p>* 定期利用者がコロナ前の水準に戻りつつある。</p> <p>* ガイドラインの改定毎に説明と共に利用者の利便性に配慮した助言を行った他、過去の利用形態の資料を提供し運営の支援を行った。</p> <p>* 年度当初のデジタルサイネージの設置場所を勘案して設定した発信情報を、後期は更に仕分けし、内容と展開周期を効果的に配分する工夫などを行った。</p>
利用者満足度	<利用者アンケートの総合満足度> 87.8%	
	<p>* 総合満足度は、継続して高い満足度が得られている。</p> <p>* すべての項目で満足度は向上しており、特に利用者の意見の反映、地域との連携の項目で昨年度から大幅に満足度が上がっている。</p> <p>* 昨年回答対象外だった主催・共催する文化事業についてもすべての項目で満足、概ね満足が70%以上を占めている。</p>	

施設利用状況	開館日数	308 日			対前年度比較	
	施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減
	スイングホール	874	793	90.7%	78.1%	12.6
	スカイルーム1	898	537	59.8%	56.5%	3.3
	スカイルーム2	898	461	51.3%	45.1%	6.2
	スカイルーム3	898	544	60.6%	54.0%	6.6
	レインボーサロンA	893	463	51.8%	41.5%	10.3
	レインボーサロンB	893	484	54.2%	45.2%	9.0

評価対象年度	今回（令和4年度）	（令和3年度）	（令和2年度）
総合評価	B	B	—
総括 （総合評価の理由）	<p>* 総合満足度指数は昨年に引き続き高く、利用率向上のための取組みの成果もあり、施設利用率について着実に回復していることから適正な運営が行われた。</p> <p>* 施設の特性を活かした自主事業を実施するなど適正な管理運営がなされた。</p>		
評価すべき点	<p>* 利用者への目線に立った案内表示の改善、職員による積極的な案内等の取組みにより、利用者の満足度が向上しており、評価できる。</p> <p>* ホールの空きを有効活用した市内の未来のアーティストを支援する「私のスタインウェイ時間」は利用率の向上に資するとともに、利用者の満足度が高く、事業継続について評価できる。</p> <p>* インターネット予約の導入、キャッシュレスシステムの導入など利用者の利便性の向上に努めた。</p>		
改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項	<p>* ホール以外の利用率の向上に努めていただきたい。</p>		

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No.5 武蔵野市立吉祥寺美術館	
主管課	市民部 市民活動推進課	
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団	
一次評価結果	<指定管理者> 81.6/100	<主管課> 73.6/100
アピール点	<p>*美術館の端緒となった野田九浦の企画展では、その住居跡に建てられた吉祥寺東コミュニティセンター見学会や修復後初披露となる作品の展示、宮内庁三の丸尚蔵館研究員による特別講演を実施した。</p> <p>*武蔵野アール・ブリュット実行委員会では事務局として市民協働に取り組むとともに、オリパラ事業終了後の実行委員会の在り方を整理し、シンボルとなるロゴマークの作成、市内全域でのPR活動を実施した。</p> <p>*子ども向け「にじ」のワークショップでは、市内の幼稚園・保育園や子育て施設等と連携し約350枚の作品応募があり、展示を行うとともに令和5年度の市内3図書館での巡回展示や「にじ」のコンサートへとつなげた。</p> <p>*音楽室の貸出など施設管理において、安全を確認しつつ利用条件の緩和やそれに伴う利用条件の変更などをホームページやSNSで周知するとともに、直接利用者へ電話で案内をするなどのきめ細やかな対応を行った。</p>	
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応
	<p>*オリパラ関連事業として実施してきたアール・ブリュットは令和3年度で一区切りを迎える。改めて、開催の目的や趣旨を振り返り、必要に応じて事業体制も見直し、レガシーとして継続できるよう努めていきたい。</p> <p>*「公演案内や施設利用案内等の情報の得やすさ」の満足度は56.9%に低下しているため、引き続きどのような利用者に情報が届いていないのか分析し、より効果的な情報発信を行えるよう検討いただきたい。</p>	<p>*アールブリュットはこれまでの1か年事業から2か年事業へ移行することで、事業自体の質の向上を目指しつつも実行委員会の負担を軽減し、持続可能な事業への転換を進めている。令和3年度までを一区切りとし、令和4年度は、シンボルとなるロゴマークを作成・活用し、市内各地域でPR活動を展開、令和5年度は展示を開催する年とした</p> <p>*市内利用者比率と満足度に一定の相関関係は見出されたため、プレスやメディア露出を通してPRに取り組んだ結果、「満足」「概ね満足」は62.8%と改善を見せているが、平均点は77.8%から78.0%とほぼ横ばいである。</p>
利用者満足度	<利用者アンケートの総合満足度>	92.9%
	<p>*総合満足度はやや不満以下の評価はなく、昨年の92.1%に引き続き、高い評価を得た。</p> <p>*ほぼすべての項目で満足度が向上しているが、特に職員の対応については全項目で高い満足度を得た。</p>	

施設利用状況	開館日数	339 日			対前年度比較	
	施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減
	企画展示室 (市民ギャラリーA)	345	339	98.3%	92.2%	6.1
	企画展示室 (市民ギャラリーB)	345	327	94.8%	92.2%	2.6
	開館日数	346 日			対前年度比較	
	施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減
	音楽室	1,030	885	85.9%	75.5%	10.4

評価対象年度	今回 (令和4年度)	(令和3年度)	(令和2年度)
総合評価	A	A	—
総括 (総合評価の理由)	*市ゆかりの作家の企画展では様々な関連イベントの開催に取り組み、子供向け「にじ」のワークショップでは市内の幼稚園・保育園等と連携して展示を実施するなど、地域と連携した活動を積極的に実施した。		
評価すべき点	<p>*美術館ならではの専門性の高い接遇研修を定期的実施するなど、職員の対応を高く評価されており、再来館者率の高さに寄与した。</p> <p>*所蔵作品展から始まり絵本や油彩画、現代芸術などの企画展とともに、ワークショップなども同時開催するなど、幅広い展開で利用者の増加に努めるとともに、グッズ販売収入についても計画額 400 万円に対し、収入額 476 万円と予定額を大きく超えており評価できる。</p> <p>*インターネット申し込みによる抽選の導入、キャッシュレスシステムの導入など利用者の利便性の向上に努めた。</p>		
改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項	*アール・ブリュットが変革期を迎えているので、令和4年度の周知活動を活かした事業とし、さらなる地域との協働に取り組んでいただきたい。		



武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No.6 武蔵野市立松露庵					
主管課	市民部 市民活動推進課					
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団					
一次評価結果	〈指定管理者〉 70.4/100		〈主管課〉 64.8/100			
アピール点	*施設の設置目的や市の文化振興基本方針を踏まえ、施設管理や事業運営を通じた課題を明らかにするため事業団の中期計画を定め、これに沿った施設運営を行った。					
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項		指摘事項への主な対応			
	<p>*依然として利用率が低い状況が続いているため、引き続き茶道以外での和風庭園の特性を生かした利用方法（撮影スポット等）や地域の大学との連携を積極的に検討・提案し、利用率向上や魅力発信に努めていただきたい。</p> <p>*利用率が極端に低下しており、利用が稀になることで、接遇や備品の取扱いなどの習熟度が落ちることのないよう、対応を検討していただきたい。</p>		<p>*茶道の他、撮影会やお香の会など、新しい利用を開拓することができた。また、提携事業「おもかげ松露庵」も開催し好評を得た。事業の広報を通じ、さらに多様な利用が可能な施設であることのPRにつなげている。</p> <p>*職員の習熟度が低下しないよう、マニュアルの周知を徹底するなど、体制の整備強化を行った。なお、令和4年10月からの茶道具の貸出し再開以降、利用率は回復傾向にある。</p>			
利用者満足度	〈利用者アンケートの総合満足度〉 100%					
	*施設の老朽化や、新型コロナウイルス感染症の継続で非常に困難な状況である中、安定した総合満足度を獲得し続けており、堅実な管理運営がなされている。					
施設利用状況						
	開館日数	307			対前年度比較	
	施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減
	松露庵	610	134	22.0%	2.0%	20.0

評価対象年度	今回（令和4年度）	（令和3年度）	（令和2年度）
総合評価	B	B	—
総括 （総合評価の理由）	<p>*施設の老朽化、また、新型コロナウイルス感染症の流行と、非常に困難な状況である中、総合満足度は100と非常に高い評価を獲得しており、堅実な管理運営がなされた。</p> <p>*合併に伴いリニューアルした SNS やホームページなどを活用し、適切に情報発信した事により、利用率が向上した。</p>		
評価すべき点	<p>*茶道の他、撮影会やお香の会など、新しい利用方法を開拓した。また、提携事業「おもかげ松露庵」も開催し好評を得た。</p> <p>*インターネット予約の導入、キャッシュレスシステムの導入など利用者の利便性の向上に努めている。</p>		
改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項	<p>*利用率の更なる向上に努めていただきたい。</p>		

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No.7 武蔵野市立吉祥寺シアター					
主管課	市民部 市民活動推進課					
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団					
一次評価結果	〈指定管理者〉 79.2/100			〈主管課〉 76.8/100		
アピール点	<p>* 次世代を担う人材の育成、普段劇場に来ることの少ないファミリー層向けの公演、市民や若年層を対象とした参加・交流型事業等を継続的に実施し、長期的な視点で舞台芸術の普及・発展に取り組んだ。</p> <p>* 公共施設や小学校、幼稚園等でのアウトリーチ上演、中学校との授業連携、図書館での展示や読み聞かせ会等、市内の様々な施設と協力した事業を継続的に行い、各施設との連携を強めるとともに、地域に開かれた劇場としての認知を高めた。</p>					
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項			指摘事項への主な対応		
	<p>* アンケートを Google フォームで行うなど先進的な取組みが多いので、引き続き続けて頂くとともに、他館にも波及するよう努めていただきたい。</p> <p>* 持続的に現在と同等以上の事業の提供が可能となるような組織体制の整備に努めていただきたい。</p>			<p>* Google フォームなどの効果的な取組みは継続して行っており、好事例などは事業団内でも共有し波及に努めた。</p> <p>* 研修やマニュアルの周知を徹底し、人事異動等によるサービス水準の低下が起こらないよう努めている。また適切な職員配置をすることで、公演業務等に専念できる環境の構築に取り組んだ。</p>		
利用者満足度	〈利用者アンケートの総合満足度〉 84.1%					
	<p>* 「やや不満」「不満」との回答はなく、一定の評価を受けていることが伺える。</p> <p>* 情報の提供、利用者の意見の反映について、改善に向けた取組みの実施により、昨年度よりポイントが上昇している。</p>					
施設利用状況	開館日数		347 日		対前年度比較	
	施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減
	劇場	879	879	100.0%	96.6%	3.4
	けいこ場	954	781	81.9%	88.4%	-6.5

評価対象年度	今回 (令和4年度)	(令和3年度)	(令和2年度)
総合評価	A	A	—
総括 (総合評価の理由)	<p>* 総合満足度の指数は、令和3年度 84.1% (令和2年度 79.4%) と、前年度より上昇した。</p> <p>* 公共施設や小学校、幼稚園等でのアウトリーチ上演、中学校との授業連携、図書館での展示や読み聞かせ会等、市内の様々な施設と協力した事業を継続的に行い、各施設との連携を強めるとともに、地域に開かれた劇場としての認知を高めた。</p>		
評価すべき点	<p>* 親子向け「ファミリーシアター」や劇場外で楽しむ「ベンチのための Playlist 2023」の実施、ワークショップやアウトリーチ上演の実施など幅広い事業展開で利用者の増加に努めた。</p> <p>* 公式 YouTube チャンネルで公演に関する CM やダイジェストの配信を開始するなど、新たな取組みを続けていることも評価できる。</p> <p>* インターネット予約の導入、キャッシュレスシステムの導入など利用者の利便性の向上に努めた。</p>		
改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項	<p>* キャッシュレス決済やインターネット申し込みなど新たな取組みを開始しているため、利用者への積極的な周知に取り組んでいただきたい。</p>		

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No. 8 武蔵野市立かたらいの道 市民スペース					
主管課	市民部 市民活動推進課					
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団					
一次評価結果	〈指定管理者〉 73.6/96		〈主管課〉 64.8/96			
アピール点	<p>*利用者からの問い合わせには、一般的な会議利用の他に、絵画、書道、写真、陶芸など各種展示会場としての利用が可能であり、こぢんまりとしたスペースを活かした個展などの利用にも向いていることを案内している。</p> <p>*様々な用途での使用が可能なバリアフリー施設であることをホームページ等でも広報し、施設利用者以外のトイレ利用等にも対応している。</p> <p>*小規模施設であるため、特に利用者への細やかな配慮（室温管理、忘れ物の声掛けなど）を心がけた。</p> <p>*芸能劇場と一体的に運営していることを生かし、芸能劇場窓口で声掛けなどを行い、かたらいの道市民スペースの利用促進を図った。</p>					
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項		指摘事項への主な対応			
	*利用率は回復こそ見られるものの、新型コロナウイルス感染症流行前の水準には及ばないため、情報の提供を工夫し、地域への貢献・連携について検討を重ね、さらなる回復に努めていただきたい。		*PR チラシを作成し、芸能劇場で掲示したほか、会議利用希望者には、利用促進に繋がるよう一体的運用を行っている芸能劇場窓口でかたらいの道市民スペースの紹介をするなど声掛けを行い、利用率向上に努めた。また、イベント時に施設を開放するなど、地域と連携した取組みも実施した。			
利用者満足度	〈利用者アンケートの総合満足度〉 70.5%					
	*「職員の対応等」、「建物・設備・備品等の管理」については全項目で70%以上が「満足」、「概ね満足」と評価しており、一定の評価を得ている。一方で、「情報提供に関する満足度」については、他の項目と比較して満足度が低い状況であるが、前年度よりも向上している。					
施設利用状況	開館日数	307日			対前年度比較	
	施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減
	第1会議室	901	494	54.8%	49.7%	5.1
	第2会議室	903	431	47.7%	47.0%	0.7

評価対象年度	今回 (令和4年度)	(令和3年度)	(令和2年度)
総合評価	B	B	—
総括 (総合評価の理由)	* 総合満足度の指数は令和4年度 70.6 (令和3年度 69.4) と前年度より上昇しており、期待どおりの適正な運営が行われた。		
評価すべき点	<p>* 芸能劇場との一体管理を利用し、芸能劇場窓口での声掛けやPRチラシの掲示を行い、利用促進に向けた取組みを実施した。また、イベント時に施設を開放するなど、地域と連携した取組みも実施した。</p> <p>* インターネット申し込みによる抽選の導入、キャッシュレスシステムの導入など利用者の利便性の向上に努めた。</p>		
改善すべき事項や さらなる取組みが 望まれる事項	* さらなる利用率、施設認知度の向上に向け取り組んでいただきたい。		

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No.9 武蔵野市立武蔵野商工会館市民会議室（ゼロワンホール）																										
主管課	市民部 産業振興課																										
指定管理者の名称	武蔵野商工会議所																										
一次評価結果	<指定管理者> 59.2/88	<主管課>	61.6/88																								
アピール点	<p>*マイク、CD、ブルーレイディスクプレイヤー、PCモニター等が使用できるため、セミナーや研修会、説明会といった用途で利用される機会が多く、リピーターも多い。</p> <p>*商工会館1階にLED案内板を設置し、会議室の利用予定や商工会議所事業の案内を行っている。</p>																										
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応																									
	<p>*新型コロナウイルス感染症拡大の影響から手続き方法の多様化が求められるなか、引き続き窓口による申請方法だけではなく、電話や郵送、メール等による対応を検討すること。</p> <p>*設備などの情報を利用者にも効果的に発信する方法を検討すること。</p>	<p>*商工会議所の業務として新型コロナウイルス感染症による影響を受けた事業者への対応を優先的に取り組んだため検討に至らなかった。</p> <p>*利用者の利便性に配慮しつつ、日々の対応をシステマチックに行うことが可能となる方法を引き続き指定管理者と協議・検討していく。</p>																									
利用者満足度	<利用者アンケートの総合満足度> 88.4%																										
	*職員対応の項目は昨年同様、利用者の9割近くが「満足」「概ね満足」としており、丁寧な対応が評価されている。																										
施設利用状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>対前年度比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数（件）</td> <td>294</td> <td>279</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>利用コマ数（コマ）</td> <td>481</td> <td>262</td> <td>219</td> </tr> <tr> <td>利用可能コマ数（コマ）</td> <td>909</td> <td>581</td> <td>328</td> </tr> <tr> <td>利用率（%）</td> <td>52.9</td> <td>45.1</td> <td>7.8</td> </tr> <tr> <td>使用料（円）</td> <td>2,358,350</td> <td>2,377,600</td> <td>19,250</td> </tr> </tbody> </table> <p>*令和3年度市民会議室利用可能コマ数は空調設備更新工事期間（R3.9.30～11.19）を対象から除く。</p> <p>*令和4年度市民会議室利用可能コマ数はコロナ前と同等に夜間貸し出しなどを通年で戻したことから、長期間の工事による貸し出し休止期間がなかったことから、令和3年度と比較し大幅に増えている。</p> <p>*利用コマ数は大幅に増えているが、ワクチン接種の会場や、実施が見送られていた市の事業（いずれも減免対象）による利用が増えており、使用料の増加には直結していない。数はコロナ前と同等に夜間貸し出しなどを通年で戻したことから、長期間の工事による貸し出し休止期間がなかったことから、令和3年度と比較し大幅に増えている。</p>			年度	令和4年度	令和3年度	対前年度比較	利用件数（件）	294	279	15	利用コマ数（コマ）	481	262	219	利用可能コマ数（コマ）	909	581	328	利用率（%）	52.9	45.1	7.8	使用料（円）	2,358,350	2,377,600	19,250
年度	令和4年度	令和3年度	対前年度比較																								
利用件数（件）	294	279	15																								
利用コマ数（コマ）	481	262	219																								
利用可能コマ数（コマ）	909	581	328																								
利用率（%）	52.9	45.1	7.8																								
使用料（円）	2,358,350	2,377,600	19,250																								

評価対象年度	今回（令和4年度）	（令和3年度）	（令和2年度）
総合評価	B	B	—
総括 （総合評価の理由）	* 令和4年度の総合満足度の指数は、88.4（令和3年度 88.4）と引き続き高い満足度が得られており、適正な運営が行われた。		
評価すべき点	* 令和3年度途中から導入した Wi-Fi についてはアンケート回答でも評価を受けている。		
改善すべき事項や さらなる取組みが 望まれる事項	* 手続き方法の多様化が求められるなか、引き続き窓口による申請方法だけではなく、電話や郵送、メール等による対応を検討されたい。 * 設備などの情報を効果的に発信し、利用者増加につなげる方法を検討されたい。		



武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No.10 武蔵野市立自然の村	
主管課	子ども家庭部 児童青少年課	
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団	
一次評価結果	<指定管理者> 77.6/100	<主管課> 68.8/100
アピール点	<p>* 新型コロナウイルス感染症による規制緩和に伴い、直行バス運行や天体事業の回数や定員を増やすなど各種事業の実施やサービスの向上に努めた。</p> <p>* ホームページや広報誌をリニューアルし、利用者にとって必要な情報を分かりやすく得られるように変更した。広報面において野外活動センターの紹介動画を作成し、自然の村についての紹介動画を導入し、YouTube に公開するなど PR に努めた。</p>	
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応
	<p>* SNS の活用について、現地との連携や交流を生かした情報提供や、更新頻度の見直し等により、より効果的な情報発信を図っていただきたい。</p> <p>* 利用者ニーズの収集方法をさらに工夫するとともに、ニーズの反映状況について、ホームページで公表するなどの見える化を行うことで、施設運営の改善を図っていただきたい。</p> <p>* 令和3年度の指摘事項であるインターネット予約の導入について、引き続き検討していただきたい。</p>	<p>* 野外活動センターのホームページで情報発信しているものの、事業団の合併に伴う SNS の活用がなされていない。</p> <p>* 令和4年度より中央棟の各部屋にアンケート用紙を設置して、随時利用者の意見を収集している。また、野外活動センターのホームページで利用者に関連する取組みを行った内容を掲載している。</p> <p>* バス運行については、令和5年度受付分よりインターネットでの申込みを行うよう変更した。現行システムの課題については、引き続き検討を行う。</p>
利用者満足度	<利用者アンケートの総合満足度> 89.1%	
	<p>* 総合満足度の指数は令和4年度 89.1（令和3年度 92.0、令和2年度 95.7）となっており、前年度と比較すると減少が続いてはいるものの、コロナ禍においても比較的高い評価を得ている。</p> <p>* 「職員の対応」に対する評価は、令和2年度から引き続き、3項目中2項目において（令和2年度、令和3年度は全ての項目において）「満足」「概ね満足」の合計値が90%を超えている。</p>	

施設利用状況	○宿泊者数（一般利用者）						
		令和4年度			令和3年度		
		貸出可能 延部屋 数	延利用 部屋数 (利用人数)	稼働率	貸出可能 延部屋 数	延利用 部屋数 (利用人数)	稼働率
	中央棟	801	367 (824)	45.8%	120	83 (180)	69.1%
キャビン棟	2,762	249 (743)	9.0%	0	0 (0)	-	
<p>※令和3年度は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置期間の影響で、開村日が前年度の5分の1、例年の8分の1程度となり、更に部屋数を制限して運営を行った。令和4年度は閉村せずに運営することができた。</p>							

評価対象年度	今回（令和4年度）	（令和3年度）	（令和2年度）
総合評価	B	B	—
総括 （総合評価の理由）	<p>*前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら、総合満足度の指数は令和4年度 89.1（令和3年度 92.0）と引き続き高い評価を得た。</p> <p>*事業団として企業価値向上に向けた取組み計画を策定し、安全を第一にサービス向上に努めるとともに、村内に出没した熊への対応など、地域と連携を図りながら、施設の特性に応じた適正な運営が行われた。</p>		
評価すべき点	<p>*コロナ禍において必要な対策を講じながら適正な運営を行っており、「職員の対応」に対する高評価から、現地スタッフによる質の高いサービスが提供されていることがわかる。</p> <p>*施設の老朽化はあるものの、適正な保守点検、修繕を行うとともに、日頃の清掃も徹底しており、利用者から高評価を得た。</p>		
改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項	<p>*「広報・チラシ・ポスター・インターネットなどの情報はわかりやすいか」の「満足」「概ね満足」の合計値は56.0%だった。SNSを積極的に活用し、より効果的な情報発信を図っていただきたい。</p> <p>*令和3年度からの指摘事項であるインターネット予約の導入について、引き続き検討していただきたい。</p>		

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No.11 武蔵野市立0123吉祥寺	
主管課	子ども家庭部 子ども子育て支援課	
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野市子ども協会	
一次評価結果	<指定管理者> 73.6/100	<主管課> 72.8/100
アピール点	<p>* 令和3年度はコロナウイルスの流行のためほぼ実施できなかった開館時間の延長及び4・5歳児の受け入れの試行を実施した。のびのびプロジェクトを障害者福祉課担当者とも連携して内容を検討した他、新たに両親学級の2日目プログラムを健康課と協働して実施し、出産前からの地域とのつながりをつくることを目指すなど、利用者支援事業の充実を図った。</p> <p>* 地域のボランティアによる活動や、地域の学生（小学生～大学生）による活動をひろばの中で行った他、吉祥寺美術館のアウトリーチプログラムに協力した。</p>	
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応
	<p>* 紙媒体及びインターネットでの情報提供については、引き続き工夫・改善に努めていただきたい。</p> <p>* コロナ禍において、利用者が安心・安全に過ごせるよう、引き続き施設・設備等の適正な管理に努めていただきたい。</p> <p>* 一次評価について、「地域との連携」「適正な建物・設備・備品管理」等において、指定管理者と主管課の評価に差が見られる。評価項目ごとに求められる水準を確認いただきたい。</p>	<p>* すくすくナビで毎月配信するお知らせに、なぞなぞを掲載して施設ホームページへ誘導する、館内に利用者同士のひとこと情報を掲示する等、工夫を凝らした情報発信を行った。</p> <p>* 施設内・物品の消毒を行う等、感染防止対策を講じて安心・安全な施設の維持に努めた。</p> <p>* 年度初めに武蔵野市子ども協会と子ども子育て支援課で打合せを実施し、評価項目ごとに求められる水準について確認を行った。</p>
利用者満足度	<利用者アンケートの総合満足度> 99.0%	
	* 総合満足度の指数は令和3年度から引き続き99.0（平成30年度～令和2年度100）となり、そのうち「満足」の回答が86.6%（令和3年度81.8%）と非常に高い評価を維持している	

施設利用状況	(単位：人)			
	年度	令和4年度	令和3年度	対前年度比較
	来館者総数	10,137	9,781	356
	市民来館者数	10,094	9,726	368
	市外来館者数	43	55	-12
1日平均来館者数	41.0	39.4	1.6	

評価対象年度	今回 (令和4年度)	(令和3年度)	(令和2年度)
総合評価	A	A	—
総括 (総合評価の理由)	<p>* 新型コロナウイルス感染防止策を講じながら利用者に寄り添った運営を行い、総合満足度の指数は令和3年度から引き続き99.0(平成30年度～令和2年度100)と非常に高い評価を維持した。</p> <p>* 「職員の対応」に対する評価は、令和2年度から引き続き、全ての項目において「満足」「概ね満足」の合計値が90%を超えており、アンケートの自由記載からも、スタッフによる丁寧な対応が行われていることが分かる。</p>		
評価すべき点	<p>* 他機関との連携を深め、利用者支援事業の充実を図るとともに、開館時間延長及び4・5歳児受入れを試行実施するなど、さまざまな取組みを展開した。</p> <p>* 利用者の相談にきめ細かく対応し、高い満足度を維持している。</p>		
改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項	<p>* 様々な課題を抱える子育て家庭を支援するため、他機関と連携しながら、アウトリーチやこれまで利用につながっていなかった層への取組みの充実に努めていただきたい。</p>		

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No.12 武蔵野市立0123はらっぱ	
主管課	子ども家庭部 子ども子育て支援課	
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野市子ども協会	
一次評価結果	<指定管理者> 73.6/100	<主管課> 70.4/100
アピール点	<p>* 他機関との連携が活発になり、健康課とのいくつかの協働事業の実施や、子ども家庭支援センターとの情報共有など、利用者支援事業の充実を図った。</p> <p>* 地域の先輩ママボランティアと利用者の交流の講座を開催し、地域との連携を深めた。また、そこに参加した利用者自ら先輩ママ登録の申し出もあり、今後の4・5歳児を持つ親との関わりを深めるきっかけ作りとなった。</p> <p>* のびのびプロジェクトにおいては、初年度の開催より広報の仕方を工夫したこともあり、意識を持った方の参加がみられ、当事者同士を繋げることもでき、今後の事業展開への気付きを得た。</p>	
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応
	<p>* 紙媒体及びインターネットでの情報提供については、引き続き工夫・改善に努めていただきたい。</p> <p>* 「よき相談相手か」の項目の満足度が低下している。利用者が気軽に相談できる環境づくりに努めていただきたい。</p> <p>* コロナ禍において、利用者が安心・安全に過ごせるよう、引き続き施設・設備等の適正な管理に努めていただきたい。</p> <p>* 一次評価について、「適正な再委託先管理」「適正な建物・設備・備品管理」等において、指定管理者と主管課の評価に差が見られる。評価項目ごとに求められる水準を確認いただきたい。</p>	<p>* 施設のホームページやTwitterのほか、市報や市 SNS（すくすくナビ、LINE、Twitter 等）による幅広い情報提供を行った。館内の掲示も見やすくなるよう工夫した。</p> <p>* ひろば内で利用者に対して職員から声掛けを行う等、相談しやすい環境づくりに努めた。</p> <p>* 換気を行うため、開かなくなった排煙窓を修繕し、施設内・物品の消毒を行う等、感染防止対策に努めた。</p> <p>* 年度初めに武蔵野市子ども協会と子ども子育て支援課で打合せを実施し、評価項目ごとに求められる水準について確認を行った。</p>
利用者満足度	<利用者アンケートの総合満足度> 98.0%	
	* 総合満足度の指数は令和4年度 98.0（令和3年度 97.9）となり、非常に高い評価を維持している。	

施設利用状況	(単位：人)			
	年度	令和4年度	令和3年度	対前年度比較
	来館者総数	18,559	16,882	1,677
	市民来館者数	18,505	16,813	1,692
	市外来館者数	54	69	-15
1日平均来館者数	76.1	68.9	7.2	

評価対象年度	今回（令和4年度）	（令和3年度）	（令和2年度）
総合評価	A	A	—
総括 （総合評価の理由）	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 新型コロナウイルス感染防止策を講じながら利用者に寄り添った運営を行い、総合満足度の指数は令和4年度 98.0（令和3年度 97.9）と非常に高い評価を維持した。</li> <li>* 開設から20年以上が経過しており、施設・設備の経年劣化はあるものの、新型コロナウイルス感染防止策を講じながら適切に施設運営が行われた。</li> </ul>		
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 他機関との連携を深め、利用者支援事業の充実を図るとともに、開館時間延長及び4・5歳児受入れを試行実施するなど、さまざまな取組みを展開した。</li> <li>* 利用者の相談にきめ細かく対応し、高い満足度を維持している。</li> </ul>		
改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 様々な課題を抱える子育て家庭を支援するため、他機関と連携しながら、アウトリーチやこれまで利用につながっていなかった層への取組みの充実に努めていただきたい。</li> </ul>		

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No.13 武蔵野市立高齢者総合センター（社会活動センター）			
主管課	健康福祉部 高齢者支援課			
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野市福祉公社			
一次評価結果	〈指定管理者〉	98.4/100	〈主管課〉	
98.4/100				
アピール点	<p>*幅広い年代の高齢者の利用が増え、低体力や理解力の低下に配慮した対応をしている。また、高齢市民のニーズを重視してスマートフォン教室を新たな試みとして開催した。</p> <p>*市の介護予防連絡調整会議に参加し、体操講座や地域健康クラブを介護予防の受け皿として活用するとともに、市内で介護予防事業を行っている他機関と情報共有及び連携して、効率的に介護予防に資することに努めた。</p>			
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応		
	<p>*利用者アンケートの結果、一つの講座しか受講できないことや、講座の開催頻度等に対する意見が複数見られた。施設の大規模改修による影響も考慮しながら、引き続き公設民営の社会活動センターとしての役割を踏まえた講座内容のあり方、見直しについて検討いただきたい。</p>	<p>*講座については対人距離の確保やマスク等を着用したままで受講可能な講座内容を設定するなどの工夫を行い、感染症対策に配慮しながら講座を継続し、より多くの市民への受講機会の提供に努めた。1人1講座の受講申し込みであることを考慮して、可能な限り受講者人数を拡大して受け入れを行った。</p>		
利用者満足度	〈利用者アンケートの総合満足度〉			
	80.4%			
利用者満足度	<p>*利用者アンケートの結果、「満足」が44.3%、「概ね満足」が39.2%であり、総合満足度も前年度の水準（令和3年度86.5%）に引き続き、高い満足度を維持している。</p> <p>*新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を徹底しており、その影響として1講座当たりの受講者数を減らしていること、及び一人当たりの受講可能講座数を1講座までとしていることから、講座の開催頻度や内容に関する項目において他の項目と比較して満足度が低い値となっている。一方で、衛生管理や安全に施設を利用できるように配慮していることが、「A職員の対応」「B建物・設備・備品等の管理」といった項目において高い評価として表れていると思われる。</p>			
施設利用状況	（単位：人）			
		令和4年度	令和3年度	対前年度比較
	年間講座受講者数	16	26	-10
	半年・特別短期講座受講者数	（上半期）660 （下半期）719	（上半期）507 （下半期）524	（上半期）153 （下半期）195

評価対象年度	今回 (令和4年度)	(令和3年度)	(令和2年度)
総合評価	A	A	—
総括 (総合評価の理由)	<p>*スマートフォン教室の実施や、フレイル予防の受け皿を担うなど、高齢者のニーズの変化をとらえた企画を新たに始めている。</p> <p>*一人当たりの受講可能講座数を1講座までとすることや、講座の開催頻度に対する要望があったが、新型コロナウイルスの感染防止や多くの市民の受講機会の提供のための措置であり、参加のニーズが高いことの表れと思われる。</p>		
評価すべき点	<p>*市と連携して、介護予防支援に積極的に取り組み、コロナ禍においても高齢者の居場所作りやフレイル予防の受け皿としての役割を担った。また、高齢市民のニーズを考慮して、スマートフォン教室を新たな試みとして開催した。</p> <p>*高齢者総合センターには、在宅介護・地域包括支援センターが併設されており、身体状況が低下した利用者の支援や緊急対応など、同一施設にある利点を活かしている。</p>		
改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項	<p>*令和6年度に予定されている施設の大規模改修中の事業見直しに向け、引き続き利用者のニーズ把握に努め、利用者に満足いただける講座内容の充実に繋げていただくとともに、利用者数の拡大に努めていただきたい。</p>		



武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No.14 武蔵野市立高齢者総合センターデイサービスセンター			
主管課	健康福祉部 高齢者支援課			
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野市福祉公社			
一次評価結果	<指定管理者> 95.2/100	<主管課>	95.2/100	
アピール点	<p>* 障害者施設から高齢者施設への変更等、どのような相談にも断らずに対応し、セーフティーネット機能の役割を果たした。</p> <p>* 土曜日業務や福祉用具の工夫など、生産性向上に向けた見直しを行った。</p>			
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応		
	<p>* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ボランティア活動を中止している。利用者の満足度向上及びボランティアスタッフの社会参加やフレイル予防のため、感染予防を行いながら何らかの形で活動再開ができるよう検討いただきたい。</p>	<p>* ボランティア活動は、感染防止のため、利用者との交流はオンラインを使用し行った。ボランティア勉強会は2回実施した。次年度は対面でのボランティア活動やボランティアセンター武蔵野との交流が再開できるように検討する。</p>		
利用者満足度	<利用者アンケートの総合満足度> 87.2%			
	<p>* 総合満足度における満足・概ね満足の回答がそれぞれ 71.8%・20.5%であり高い数値だが、やや不満が 5.1%と増加し、全体として昨年の 90.3%から 3.1ポイント低下している。</p> <p>* 全体的に高い評価を受けているが、情報提供については昨年に比べやや不満の回答が増えている。利用者の 70.5%が認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上であり記憶の欠落や見当識障害のある方が多く、視聴覚機能が低下している為、情報提供や案内表示については丁寧に対応していく必要がある。</p>			
施設利用状況	(単位：人)			
		令和4年度	令和3年度	対前年度比較
	実施日数(日)	304	304	0
利用延人数(人)	7,411	8,184	-773	

評価対象年度	今回 (令和4年度)	(令和3年度)	(令和2年度)
総合評価	A	S	—
総括 (総合評価の理由)	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 医療依存度や要介護度が高いなど、民間事業所で受入れや対応が困難な利用者を積極的に受け入れているほか、常勤の理学療法士を1名配置している強みを生かして、専門性の高いサービスを提供している。</li> <li>* 安定的な在宅療養のための多職種での連携や、利用者の自己決定・自己表現の支援など、利用者寄り添った対応を行っている。</li> <li>* ボランティアの活動や研修など、オンラインを活用し、実施した。</li> </ul>		
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 医療ニーズや要介護度が高く、民間事業所で受け入れが困難な利用者を積極的に受け入れることで、公設のデイサービスセンターとしての役割を果たしている。</li> <li>* 生産性向上の取組みにより、利用者との対話の時間を増やし、利用者の自己決定や自己表現を支援する取組みを行った。</li> </ul>		
改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 利用者等との信頼関係の構築にあたっては関係機関と適切に連携を行い、プログラムの内容の充実やニーズへの対応など、稼働率の改善に繋がる取組みに努めていただきたい</li> <li>* 次年度は対面でのボランティア活動や利用者の交流が再開できるよう検討いただきたい。</li> </ul>		

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No.15 武蔵野市立北町高齢者センター（小規模サービスハウス）	
主管課	健康福祉部 高齢者支援課	
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野市福祉公社	
一次評価結果	<指定管理者> 60.8/84	<主管課> 60.8/84
アピール点	<p>*利用者から、体調不良などの相談があった場合には、適切な対応と速やかに医療相談が出来るよう支援を行った。</p> <p>*日常的な相談については、生活の困りごとや悩み事などの相談に応じた。</p>	
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応
	<p>*北町高齢者センターは、コミュニティケアサロン、サービスハウス、子育て支援施設みずきっこと3つの施設が共存している。それぞれを単体で考えるのではなく、コンセプトである「誰でもいつでも通える施設」として、市民のために有効活用できる施設全体の在り方について、引き続き市と連携して検討を進めていきたい。</p>	<p>*主管課が主催するあり方懇談会に委員として参加し、現状と課題を踏まえて、北町高齢者センターの役割、新たな活用について意見交換が行われた。その中で、施設の有効活用について、提案をした。</p>
利用者満足度	<利用者アンケートの総合満足度> 0%	
	<p>*入居者1名全員から回答を得ている。</p> <p>*職員の対応については非常に高い評価を得ているものの、設備面等の建物の老朽化に対する不満が多い。</p>	
施設利用状況	/	

評価対象年度	今回 (令和4年度)	(令和3年度)	(令和2年度)
総合評価	B	B	—
総括 (総合評価の理由)	<p>*2名だった居住者は、現在1名となっており、新規募集は行っていない。施設の老朽化などで全体の満足度は低いが、職員対応については高い評価を得ている。</p> <p>*居住者が高齢となり、老朽化した施設での居住が困難になることが考えられるので、住み替えにあたっての情報提供や相談などの支援も行っている。</p>		
評価すべき点	<p>*職員が居住者に毎日声かけを行い、日曜や祝日は電話をかけ安否確認を行っている。また、利用者から、体調不良などの相談があった場合には、適切な対応と速やかに医療相談が出来るよう支援している。</p> <p>*居住者の住み替えの際には、希望を叶えられるよう身近な相談役として居住者の支援を行うとともに、市や関係機関と連携し、スムーズに次の居所へ移ることができるよう尽力している。</p>		
改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項	<p>*管理人が不在であり、かつ他の居住者がいない状況下で入居者が孤立することがないように努めていただきたい。</p>		

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No.16 武蔵野市立北町高齢者センターコミュニティケアサロン																																	
主管課	健康福祉部 高齢者支援課																																	
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野市福祉公社																																	
一次評価結果	<指定管理者> 92.8/100	<主管課>	92.8/100																															
アピール点	<p>*今年度も、デイサービスでは、8割以上の利用者が個別機能訓練を実施し、心身状態の維持・改善に努めている</p> <p>*デイサービスと子育て支援施設が併設されており、その強みを生かした運営に取り組んでいる。</p>																																	
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応																																
	<p>*「みずきっこ」について、利用者アンケートの結果、利用時間帯について要望が多く見られる（令和4年3月現在、10時～12時、13時～15時）。感染症対策には留意したうえで、親子の満足度向上のため、入れ替えを行う時間帯等をあらためて検討していただきたい。</p>	<p>*ひろばの利用時間帯については、午前10時から正午まで、午後1時00分から3時30分までに変更した。なお、開館時間は午前10時から午後4時までであるため、利用時間以外でも利用者からの相談を受ける等の対応を行っている。</p>																																
利用者満足度	<利用者アンケートの総合満足度>																																	
	94.7%（デイサービス）、 100%（子育てひろば）																																	
施設利用状況	<p>*デイサービス、子育てひろばとも不満回答がなく、それぞれ総合満足度は非常に高い水準を保っている。</p> <p>*デイサービスについては、6月からホールボランティア受け入れを再開、利用者ボランティアとの交流を再開できたことが満足度に繋がった。</p> <p>*みずきっこについては、施設の広さや、運営時間等についての要望がある。この点は改善が困難だが、施設が高い評価を受けていることで水準の高い要望になっていると考えられる。</p>																																	
	<p>○デイサービス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>対前年度比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施日数（日）</td> <td>300</td> <td>308</td> <td>-8</td> </tr> <tr> <td>利用延人数（人）</td> <td>5,032</td> <td>6,004</td> <td>-972</td> </tr> </tbody> </table> <p>○子育てひろば事業「みずきっこ」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>対前年度比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施日数（日）</td> <td>244</td> <td>238</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>延利用人数（人）</td> <td>4,422</td> <td>4,424</td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td>行事実施回数（回）</td> <td>133</td> <td>124</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>参加延人数（人）</td> <td>2,078</td> <td>1,569</td> <td>509</td> </tr> </tbody> </table> <p>※延利用人数、参加人数ともオンラインと開館日の合計</p>				令和4年度	令和3年度	対前年度比較	実施日数（日）	300	308	-8	利用延人数（人）	5,032	6,004	-972		令和4年度	令和3年度	対前年度比較	実施日数（日）	244	238	6	延利用人数（人）	4,422	4,424	-2	行事実施回数（回）	133	124	9	参加延人数（人）	2,078	1,569
	令和4年度	令和3年度	対前年度比較																															
実施日数（日）	300	308	-8																															
利用延人数（人）	5,032	6,004	-972																															
	令和4年度	令和3年度	対前年度比較																															
実施日数（日）	244	238	6																															
延利用人数（人）	4,422	4,424	-2																															
行事実施回数（回）	133	124	9																															
参加延人数（人）	2,078	1,569	509																															

評価対象年度	今回 (令和4年度)	(令和3年度)	(令和2年度)
総合評価	S	S	—
総括 (総合評価の理由)	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 比較的軽度の利用者が多いため、収入増が困難であるが、個別機能訓練の実施や定員の見直しなどのより、増収に向けた取組みを行っている。</li> <li>* デイサービスの特色の一つに、ボランティアの活動があるが、6月からボランティアの受け入れを再開した。ボランティアにとっても、社会参加の場となっている。</li> <li>* 高齢者施設と子育て支援施設が併設されている利点を活かし、様々な手法で多世代交流を行っている。</li> </ul>		
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 介護報酬の増収を図るため、積極的に個別機能訓練を実施し、前年度以上の新規利用者があり、利用者の心身状態の維持・改善に貢献した。</li> <li>* デイサービスとみずきっこは、オンライン交流を続けていたが、令和4年度途中から対面による交流を再開した。また、アイテムの作成などにより交流のための工夫を行っている。</li> </ul>		
改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 高齢者の健康増進と利用者満足度向上のため、専門職と連携しながら個別機能訓練を更に充実させ稼働率、新規利用者増に繋げていただきたい。</li> <li>* 地域開放イベント等の再開に向け開催方法を検討されたい。</li> </ul>		

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No.17 武蔵野市桜堤ケアハウス										
主管課	健康福祉部 高齢者支援課										
指定管理者の名称	社会福祉法人武蔵野										
一次評価結果	〈指定管理者〉 92.6/100					〈主管課〉 88/100					
アピール点	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 関係機関のチームアプローチにより、複雑化する支援内容に対応した。</li> <li>* フレイル予防のため看護師によるお役立ち講座を3回開催した。</li> <li>* 傾聴ボランティアを募り会話を楽しむ活動を開始した。</li> <li>* 地域の方々向け「お持ち帰り弁当（仮称）」を試行した。</li> </ul>										
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項					指摘事項への主な対応					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 入居者の高齢化・コロナ禍におけるフレイル予防、可能な範囲での家族・地域交流に向け、引き続き必要な設備の導入や関連施設との連携に努めていただきたい。</li> <li>* 入居者同士のトラブルや事故発生時の家族対応において、今後もより滞りない適切な対応ができるよう、市や法人との連携体制を再確認し、入居者に寄り添ったきめ細かな支援を行っていただきたい。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>* フレイル予防のため看護師によるお役立ち講座を3回開催した。</li> <li>* トラブル・事故発生時に適切に状況把握し、速やかな報告が行われた。</li> <li>* 問題が長引くことなく解消した。</li> </ul>					
利用者満足度	〈利用者アンケートの総合満足度〉 72.7%										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 総合満足度の構成要素のうち「満足」の割合が、令和2年度から令和3年度にかけて低下したが、令和4年度は大幅に回復した（36.0%→25.0%→45.5%）。</li> <li>* 増加した新規入居者の評価のほか、職員のこまめな声掛けや入居者の状態に合わせた食事内容が、満足度を回復させたと考える。</li> </ul>										
施設利用状況	年齢別入居者数										
	年齢	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計
	令和4年度	0	2	1	1	3	5	8	2	1	23
令和3年度	0	3	0	3	6	6	5	0	1	24	
平均年齢											
区 分				男	女	全体					
平均年齢（才）				82.30	88.21	85.88					

評価対象年度	今回（令和4年度）	（令和3年度）	（令和2年度）
総合評価	B	B	—
総括 （総合評価の理由）	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 期待どおりの適正な運営が行われた。</li> <li>* 前年度モニタリング評価委員会の指摘事項に的確に対応した（フレイル予防等）。</li> </ul>		
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 入居者の状態に合わせた個別支援や、遠方家族へのきめ細やかな対応、緊急時対応など、入居者の生活支援が適切であり総合満足度が回復した。</li> <li>* コロナ禍の制約条件があったが、傾聴ボランティア導入や、地域の方々向け「お持ち帰り弁当（仮称）」の試行は、利用者や地域に対する施設の価値を高めるものとして評価できる。</li> </ul>		
改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 入居者の状態に配慮しながら、地域交流、施設内イベント等の充実に取り組まれない。</li> <li>* 今回のコロナ禍の経験を振り返り、感染症や災害の想定と対応方針、マニュアルの見直しなど、有事への備えを充実されたい。</li> <li>* 指定管理者、主管課による一次評価が具体的な事実に基づいて行われている。ただし、高評価の要素について、期待水準を上回った部分をより明確に特定する必要がある。その前提となる期待水準の擦り合わせを丁寧に行われたい。</li> </ul>		



武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No.18 武蔵野市立みどりのこども館	
主管課	健康福祉部 障害者福祉課	
指定管理者の名称	社会福祉法人武蔵野	
一次評価結果	<指定管理者> 79.2/100	<主管課> 80.0/100
アピール点	<p>* 発達支援が必要な児を安全に受け入れつつ、感染状況に応じた行事・イベントの実施、予約制の終了などにより利用者満足度の向上に努めた。</p> <p>* 初回相談待機日数対策を進め、同時に増加した相談件数に対応した。サテライトオフィスでの相談対応も前年より増加した。</p>	
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応
	<p>* 相談申込数が増加している状況に対応するため、ハビットサテライトオフィスの有効活用も含めたハビットの初回相談待機日数の減少について検討していただきたい。</p> <p>* 発達診断をしてくれる医療機関の情報も教えてほしいなどの利用者の声に応えるため、より効果的な情報発信・情報提供の工夫について、検討していただきたい。</p>	<p>* ハビットの初回相談予約申し込み数が246件（過去5年平均196件）と多かったが、待機日数は減少した（年間平均22.3日、前年度同28.9日）。サテライトオフィスでの相談も前年度10件から31件に増加した。</p> <p>* ハビットでは利用者のニーズに沿うよう情報発信手段を検討した結果、令和5年度から登録制メール配信を開始予定。ウィズでは連絡帳アプリを導入し、随時の情報発信とオンライン上の資料簿で常時閲覧可能とした。</p>
利用者満足度	<利用者アンケートの総合満足度> 93.6%	
	<p>* 総合満足度の指数は93.6（令和3年度94.0）と前年度より0.4ポイント下がったが、引き続き高い評価を得られている。</p> <p>* 職員の対応や建物・設備・備品等の管理への評価が高く、いずれも昨年度以上の評価を得ている。書籍「福祉の職場のマナーガイドブック」の内容を職員全体で共有し、対応を統一することで一定の水準を保つよう努力しているほか、業者委託による定期清掃と職員による日常清掃、定期消毒等の感染症対策に取り組んだことなどが利用者満足度の向上につながった。また、地域との連携の項目も改善しており、コロナ禍においても、地域との交流を徐々に再開した効果が表れている。</p>	

○地域療育相談室ハビット (件数)

内容		令和4年度	令和3年度	対前年度比
療育相談	新規相談	371 (うちサテライト 14件)	339 (うちサテライト 1件)	32 (うちサテライト 13件)
	受理面接 (初回相談)	202	210	-8
	継続相談	3,311 (うちサテライト 575件)	2,110 (うちサテライト 168件)	1,201 (うちサテライト 407件)
施設訪問	保育園・幼稚園	99	91	8
	その他(学校等)	169	192	-23
発達健診	発達健診	191 (15回)	201 (15回)	-10 (-回)
医療相談	医療相談	28 (18回)	35 (17回)	-7 (1回)
計画相談	計画相談	18	55	-37
	モニタリング	964 (うちサテライト 920件)	1,181 (うちサテライト 856件)	-217 (うちサテライト 64件)

○こども発達支援室ウィズ 年齢別利用児数 (人)

	3歳	4歳	5歳	合計	平均利用者数
令和4年度	5	3	14	22	15.5人/日
令和3年度	3	13	5	21	16.3人/日
対前年度比	2	-10	9	1	-0.8人/日

○おもちゃのぐるりん 年齢別利用児数 (人)

	令和4年度	令和3年度	対前年度比較
0歳	665	576	89
1歳	845	837	8
2歳	541	643	-102
3歳	410	528	-118
4歳	279	373	-94
5歳	294	266	28
6歳	125	245	-120
その他	58	86	-28
合計	3,217	3,554	-337

※いずれの施設も新型コロナウイルス感染症の影響下においても、感染防止に留意しながら事業を継続して実施した。

評価対象年度	今回 (令和4年度)	(令和3年度)	(令和2年度)
総合評価	S	S	—
総括 (総合評価の理由)	<p>* 運営面での工夫が随所に見られ、特にハビットにおける相談事業においては、令和2年12月に開設されたハビットサテライトオフィスの有効活用が図られ、新規相談、継続相談ともに前年度より件数が大幅に増え、相談待機日数の減少につなげるなど、市民サービスの向上に努めた。</p> <p>* 新型コロナウイルス感染症の状況に留意しながら、発達支援が必要な児を安全に受け入れつつ、利用者意見への対応、イベント実施の工夫、地域交流の積極的な展開など、安全・安心かつ利用者満足度の高い丁寧な施設運営を行った。</p>		
評価すべき点	<p>* 前年度の指摘事項に対し真摯に取り組み、特に令和2年12月に開設したハビットサテライトオフィスの有効活用を図り、サテライトオフィスでの来所相談件数が前年度より大幅に増え、相談待機日数の減少につなげたことは高く評価できる。</p> <p>* コロナ禍においても、感染状況に応じた行事、イベントを工夫して実施しており、特にウィズでは保育園・幼稚園との直接交流を再開したほか、ハビットでも地域住民主体のイベントへの支援を継続するなど、地域との交流を積極的に行っていることは高く評価できる。</p>		
改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項	<p>* 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類へ移行したことに伴い、利用者アンケートでも求められている保護者同士の交流や子ども同士の交流など、様々な交流機会の提供について検討していただきたい。</p>		

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No.19 武蔵野市障害者福祉センター			
主管課	健康福祉部 障害者福祉課			
指定管理者の名称	社会福祉法人武蔵野			
一次評価結果	<指定管理者>	73.6/100	<主管課> 73.6/100	
アピール点	<p>* 事業の認知度が増し、専門相談の相談件数が増加した。</p> <p>* 新型コロナウイルス感染症の状況に応じ発信される市の情報に合わせ、講習会の定員・種目の増加や来館時の手続きなどの変更を柔軟に行った。</p> <p>* 新型コロナウイルス感染症対策として、清掃委託会社だけではなく、職員が毎日全館のポイント消毒を行うなど感染症対策を強化した。</p>			
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応		
	<p>* 情報の提供に対する利用者の満足度が全体と比べると低い状況にあるため、様々なツールを活用して行った情報発信が利用者等へ伝わるよう、現状の発信方法を検証のうえ、より効果的な発信方法について検討していただきたい。</p> <p>* より適正な施設運営ができるよう、事業の運営上の課題を市と定期的に連絡調整する場の設定について、市と連携して実践していただきたい。</p>	<p>* 2次元バーコードの導入やフォームの活用など、情報発信の仕方は工夫を行った。SNS や YouTube などの導入は法人全体の方針や建て替えのタイミングなどを見ながら今後進めていきたい。</p> <p>* 令和4年度は職員体制や事業の執行方法等について、市と2回の打ち合わせを行った。現在欠員となっている職種もあることから、今年度も継続して市と打ち合わせを行っていく。</p>		
利用者満足度	<利用者アンケートの総合満足度>	72.4%		
	<p>* 総合満足度の指数は72.4（令和3年度76.9）と前年度より4.5ポイント下がったものの、引き続き一定の評価を得ている。</p> <p>* 職員の対応については引き続き高い評価を得ているが、改築を目前に控えている状況もあり、建物や設備、備品に対する満足度は他の項目と比べると依然低い状況にある。一方、情報の提供や利用者意見の反映、安全管理体制の項目は前年度より改善している。</p>			
施設利用状況	○デイサービス			
	年度	令和4年度	令和3年度	前年度比較
	延べ人数（人）	1,149	1,251	-102
<p>* 新型コロナウイルス感染症の影響下においても、感染防止に留意しながら、デイサービス事業を継続して実施した。</p>				

評価対象年度	今回（令和4年度）	（令和3年度）	（令和2年度）
総合評価	B	B	—
総括 （総合評価の理由）	<p>* 施設の設立趣旨に沿った適切な事業運営がなされているとともに、新型コロナウイルス感染症対策を徹底的に行いながら、安全かつ安心な施設運営に努め、適正な施設運営が行われた。</p> <p>* 建物や設備の老朽化が進み、施設の改築を控える中、職員の丁寧な対応のほか、定期的な清掃・消毒による衛生面の管理徹底、情報発信手段の工夫など、ソフト面での市民サービス向上に努めた。</p>		
評価すべき点	<p>* 情報提供に対する利用者の満足度が低かった状況に対し、2次元バーコードやフォームの活用など、デジタル技術を活用した情報発信の工夫を行い、情報提供の利用者満足度の改善を図った。</p> <p>* 施設の老朽化が進んでいる中で、衛生面が保たれるよう適切な清掃・消毒作業を実施しているほか、意見箱の設置により利用者の意見の反映に努めるなど、ソフト面での市民サービス向上に取り組んだ。</p>		
改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項	<p>* 施設の改築にあたっては、インターネット環境やトイレの整備などの課題への解決に向けて、より市との連携を強化していただきたい。</p>		

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No.20 武蔵野市放課後等デイサービス施設（パレット）			
主管課	健康福祉部 障害者福祉課			
指定管理者の名称	社会福祉法人武蔵野			
一次評価結果	<指定管理者> 68.0/96	<主管課>	68.8/96	
アピール点	<p>* 医療的ケア児だけでなく、医療的な配慮が必要な児が安全に利用できるよう配慮し、また、保護者が就労継続できるよう学校のスケジュールに合わせた柔軟な受け入れを実施し、利用者からの満足度は高い。</p> <p>* ハビットサテライトだけでなくウィズを含めて相互支援できる体制づくりを進め、安定的に安全な支援が提供できるよう工夫している。</p>			
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応		
	<p>* 医療的ケア児を含め、利用児が安全に施設を利用できることを優先したうえで、効果的な施設利用となるよう、適切な利用率の向上に向けた取組みについて検討していただきたい。</p> <p>* 引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、利用児の安全な受入れを優先したうえで、徐々に地域や地域住民との交流・連携及び自主事業の取組みについて進めていくことができるよう、検討していただきたい。</p>	<p>* 利用が優先される医療的ケア児や保護者が就労している児以外の身体障害児や学校の長期休みのみ利用する児への案内を進めた結果、前年度利用延べ人数 867人から 1,017 人に増加した。</p> <p>* 感染症対策のため、組織的な交流に取り組むことは難しかったが、桜堤児童館や近隣の公園に出かけることで、地域の児童と一緒に遊ぶ機会や、桜堤ケアハウスが主催するお祭りに参加し交流する機会を設けた。</p>		
利用者満足度	<利用者アンケートの総合満足度> 100.0%			
	<p>* 総合満足度の指数は 100.0（昨年度 100.0）と昨年度に引き続き非常に高い評価を得られている。</p> <p>* 職員の対応、施設の管理、利用者意見の反映、事業の取組みについては、すべての項目で「満足」または「概ね満足」となっており、非常に高い評価を得ている。</p>			
施設利用状況	年度	令和4年度	令和3年度	前年度比較
	利用延人数 (計画利用延人数)	1,017人 (1,199人)	867人 (1,059人)	150人 (140人)
	出席率	84.8%	81.9%	2.9
	事業日数	242日	242日	—
* 新型コロナウイルス感染症の影響下においても、感染防止に留意しながら、放課後等デイサービス事業を実施した。				

評価対象年度	今回（令和4年度）	（令和3年度）	（令和2年度）
総合評価	A	B	—
総括 （総合評価の理由）	<p>* 民間事業者では受け入れが難しい医療的ケア児や、医療的な配慮が必要な児を受け入れ、安全面に対する適切な配慮を行うほか、保護者の就労継続を考慮した丁寧なサービス提供や地域との交流を進めるなど、期待以上の管理運営がなされた。</p> <p>* ハビットサテライト、ウィズ、パレット三者で相互支援体制を組み、日によって利用者数が大きく変動することに対応するなど、安定的なサービス提供ができるよう工夫した。</p>		
評価すべき点	<p>* 民間事業者での対応が困難な医療的ケア児、医療的な配慮が必要な児の受け入れに適切に対応したほか、保護者が就労継続できるよう、平日の学校休校日や短縮授業など他の放課後等デイサービスが対応できない時間帯でも利用児の受け入れを行うなど、柔軟なサービス対応を行った。</p> <p>* 令和2年12月の施設開設以降、新型コロナウイルス感染症の対応や安定的な施設運営を優先するために難しかった地域との交流について、桜堤児童館や近隣の公園へ出かけることで、地域の児童と一緒に遊ぶ機会や、桜堤ケアハウス主催のお祭りに参加し交流する機会を設けるなど、徐々に進めた。</p>		
改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項	<p>* 保護者のニーズを把握しながら、保護者同士の交流の場を創出できるよう検討していただきたい。</p>		

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No.21～25 武蔵野市立武蔵野陸上競技場、武蔵野市立武蔵野軟式野球場、武蔵野市立武蔵野庭球場、武蔵野市立武蔵野総合体育館、武蔵野市立緑町スポーツ広場	
主管課	教育部 生涯学習スポーツ課	
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団	
一次評価結果	〈指定管理者〉 80/100	〈主管課〉 80/100
アピール点	<p>* 体育館・陸上競技場においては週1回以上利用する方が約5割を超え、市民の運動習慣再開に貢献した。</p> <p>* キャッシュレス決済を導入し、事業団ホームページもリニューアルをした。</p> <p>* 事業団の主催事業においては、参加者の既往歴や健康状態を事前に把握し、怪我・事故等を未然に防げるよう、講師との共有を行っている。さらに事故発生防止のため、幼児向け、小学生向け教室では担当職員が常駐し、安全管理を徹底した。</p> <p>* オリンピアン・パラリンピアンをゲストとして迎え、一流のプレーや技を体感する機会を設けた。さらに「支える」点においては、スポーツボランティア HANDS や市内大学のボランティアセンターにご協力をいただき、地域との連携を深めることができた。</p>	
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応
	<p>* 引き続き消毒や館内アナウンス等利用者が安心・安全に利用できる環境維持に努めるとともに、利用者ニーズに対して実現可能性や公平性、コスト面等を踏まえ、新たなサービスの提供等に努めていただきたい。</p> <p>* 令和8年度の総合体育館大規模改修工事に向け、引き続き利用者の安心・安全を第一に考え、施設・設備の不具合に迅速かつ適切に対応するとともに、市と連携して改修工事に向けた適切な準備を進めていただきたい。</p> <p>* 新型コロナウイルス感染症の感染状況などを踏まえ、施設や教室等の定員や事業内容を適宜適切に見直し、様々な形で利用者がスポーツに参加できる機会を提供するとともに、リニューアルするホームページなどを活用し、わかりやすい情報提供に努めていただきたい。</p> <p>* 令和4年4月に統合によって誕生した「(公財)武蔵野文化生涯学習事業団」の効果的な広報や、両事業団が持っていた資源を有機的に結びつけた新しい事業展開について検討していただきたい。</p>	<p>* 子育て世代を対象とした出張事業や施設使用料等のキャッシュレス及びオンライン決済を導入し、利用者ニーズに対応した新たなサービスを提供した。</p> <p>* 委託事業者の定期点検や職員の施設総合点検により、不具合箇所の確認・補修・保全等を迅速かつ適切に対応した。また、修繕の範囲を超えるものは主管課と情報共有し、連携した対応を検討するとともに、改修工事に向けた情報整理等に取り組んだ。</p> <p>* リニューアルしたホームページや館内掲示等を活用したわかりやすい情報提供を行うとともに、電話や窓口での職員による丁寧な対応に努めた。</p> <p>* 職員間での分野を超えた事業展開・事業運営のノウハウを共有し、新たな事業展開に向けた準備に取り組んだ。</p>



利用者満足度	<p>&lt;利用者アンケートの総合満足度&gt;</p> <p>総合体育館：84.5%、陸上競技場：78.1%、軟式野球場：81.8%</p> <p>庭球場：87.5%、スポーツ広場：89.8%</p>				
	<p>*施設利用における定員緩和や制限解除が段階的に行われ、用具の貸出が再開されたことが高い満足度につながったと考えられる。また、利用方法等の変更が生じた際は、都度ホームページや館内掲示、電話、窓口での職員による丁寧な対応に取り組んだことも高い満足度の要因と考えられる。</p>				
施設利用状況	施設名	利用者数（人）		増減数	増減率
		令和4年度	令和3年度		
	総合体育館	227,772	197,101	30,671	15.6%
	陸上競技場	57,259	42,361	14,898	35.2%
	軟式野球場	19,080	12,099	6,981	57.7%
	庭球場	55,783	50,871	4,912	9.7%
	スポーツ広場	18,071	15,844	2,227	14.1%
	合計	377,965	318,276	59,689	18.8%
<p>※令和3年10月25日から令和4年11月7日の期間で総合体育館トレーニング室の利用について、市民限定とし、人数制限を行った。令和4年11月8日以降は制限を廃止し、通常時の営業とした。</p>					

評価対象年度	今回（令和4年度）	（令和3年度）	（令和2年度）
総合評価	B	B	—
総括 （総合評価の理由）	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 期待どおりの適切な運営が行われた。</li> <li>* 子どもや子育て世代、高齢者や障がい者など幅広い層を対象にスポーツ・レクリエーション活動の機会を提供し、市民がスポーツに取り組む機会を創出した。</li> <li>* スポーツボランティア「HANDS」や大学のボランティアセンター、各種地域団体など地域と連携した事業・大会運営を行うとともに、スポーツを支える人材の育成を図り、様々な活動の場を提供した。</li> </ul>		
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>* リニューアルしたホームページによるリアルタイムでの情報発信や窓口・電話による職員の迅速かつ丁寧な説明・対応に努めたことで、利用者アンケートの「職員の対応」において、5施設全てで高い満足度を得ることができた。</li> <li>* 男子トイレへのサンタリーボックスの設置や体育館と陸上競技場の間の通路の舗装工事により車椅子用駐車場からのアクセスを整備した。</li> <li>* 西部エリアや吉祥寺エリアのコミュニティセンターと連携し、子育て世代を対象とした出張事業を行うなど、体育館から離れた地域のニーズに応える新たな取組みを進めることができた。</li> </ul>		
改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 各種点検等を実施し、不具合箇所を把握するとともに、適宜修繕・保全に取り組む、利用者が安心して使用できる施設を維持していただきたい。</li> <li>* 市のスポーツ施設の拠点として地域と連携した取組みについて検討いただきたい。</li> </ul>		

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No.26、27 武蔵野市立武蔵野プール、武蔵野市立武蔵野温水プール																									
主管課	教育部 生涯学習スポーツ課																									
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団																									
一次評価結果	〈指定管理者〉 75.2/100		〈主管課〉 76.0 /100																							
アピール点	<p>*利用者アンケートの総合満足度が上昇した (57.7→81.1%)。</p> <p>*指定管理者として監視員の救命処置のトレーニングや、年2回防災訓練を実施した。さらに事業団主催の大人向け教室では開始前の血圧測定を必須する等、安全管理を徹底した。</p> <p>*幼児・大人向け水泳教室、アクアビクス、ユニバーサルや障がい者向け教室、夏休み期間のジュニア向け教室等では、事業の特性を踏まえ参加者の年代や参加しやすい時間帯に実施した。</p> <p>*キャッシュレス決済を導入した。</p> <p>*Sports for All 水球の申込サイトを外部企業に委託し申込を容易にした。</p> <p>*利用者意見を受け、遊泳中にスマートウォッチ(カバー付き)使用可とした。</p>																									
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項		指摘事項への主な対応																							
	<p>*総合満足度の指数は令和3年度57.7(令和2年度85.4)と前年度と比較して大幅に低下しており、内容を分析のうえ、利用者満足度の向上に努めていただきたい。</p> <p>*引き続き利用者にとって安心・安全な施設となるよう、新型コロナウイルス感染症対策に取り組むとともに、利用者の利便性や健康管理等のバランスを意識した環境づくりを進めていただきたい。</p>		<p>*前年度の総合満足度低下は新型コロナウイルス感染拡大に起因するものだった。感染状況の落ち着きを捉えて諸制限を段階的に緩和する際に、丁寧な利用案内や順番待ちシステムの継続など満足度向上のための具体的な措置を講じた。</p> <p>*必要に応じた感染症対策とともに、状況に合わせて制限を緩和した。都度周知を行い、利用者が混乱なく施設利用ができるようにした。</p>																							
利用者満足度	<p>〈利用者アンケートの総合満足度〉 81.1%</p> <p>*コロナ禍の影響や施設の老朽化にもかかわらず、利用者アンケートの総合満足度が上昇した (57.7→81.1%)</p> <p>*職員に関する項目と安全管理に関する項目の満足度が高い点が特筆される。</p>																									
施設利用状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th colspan="2">利用者数(人)</th> <th rowspan="2">増減数</th> <th rowspan="2">増減率</th> </tr> <tr> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温水プール</td> <td>71,440</td> <td>52,687</td> <td>18,753</td> <td>35.6%</td> </tr> <tr> <td>屋外プール</td> <td>19,001</td> <td>0</td> <td>19,001</td> <td>皆増</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>90,441</td> <td>52,687</td> <td>37,754</td> <td>71.7%</td> </tr> </tbody> </table>				施設名	利用者数(人)		増減数	増減率	令和4年度	令和3年度	温水プール	71,440	52,687	18,753	35.6%	屋外プール	19,001	0	19,001	皆増	合計	90,441	52,687	37,754	71.7%
施設名	利用者数(人)		増減数	増減率																						
	令和4年度	令和3年度																								
温水プール	71,440	52,687	18,753	35.6%																						
屋外プール	19,001	0	19,001	皆増																						
合計	90,441	52,687	37,754	71.7%																						

評価対象年度	今回（令和4年度）	（令和3年度）	（令和2年度）
総合評価	B	B	—
総括 （総合評価の理由）	<ul style="list-style-type: none"> <li>* コロナ禍の影響や施設の老朽化等様々な制約条件下にもかかわらず、指定管理者の努力により期待どおりの適正な運営が行われた。</li> <li>* 利用者アンケートの総合満足度が上昇し、特に職員に関する項目と安全管理に関する項目の満足度が高い。</li> <li>* 第二期武蔵野市スポーツ推進計画を踏まえ施設・設備上の課題が解消されれば更なる満足度の向上が期待される。</li> <li>* 前年度モニタリング評価委員会の指摘事項に的確に対応した。</li> </ul>		
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 利用者アンケートの総合満足度が上昇した。職員に関する項目と安全管理に関する項目の満足度が高い点が特筆される。</li> <li>* 幼児・大人向け水泳教室等参加者の年代や時間帯への配慮が必要な事業を適切に企画・実施した。</li> <li>* 順番待ちシステム、Sports for All 水球の申込サイトの委託、遊泳中のスマートウォッチ使用可など、積極的に利便性向上に取り組んだ。</li> <li>* 事業団主催の大人向け教室で開始前の血圧測定を必須にする等、安全管理を徹底した。</li> <li>* 市の第二期武蔵野市スポーツ推進計画を踏まえながら、第二期中期計画、企業価値向上に向けた取組計画に基づき法人運営に取り組んだことが、指定管理者業務の適正な遂行に繋がった。</li> </ul>		
改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 今回のコロナ禍の経験を振り返り、感染症や災害の想定と対応方針、マニュアルの見直しなどに取り組まれない。</li> <li>* 指定管理者による様々な改善点が市民に伝わるよう、情報の提供に関する満足度の向上に取り組まれない。</li> </ul>		

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No.28 武蔵野市立ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス			
主管課	教育部 生涯学習スポーツ課			
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団			
一次評価結果	<指定管理者> 86.4/100	<主管課>	83.2/100	
アピール点	<p>* コロナ禍においても年間 144 万人以上の来館者があり、感染症対策を徹底して施設運営を行うとともに、対面での事業実施だけでなくオンライン講座等に取り組み、学びの機会を提供し続けた。</p> <p>* デジタルサイネージを活用した「学ぶ楽しさを伝える」動画をプレイスはもちろんのこと、体育館、吉祥寺図書館でも展開し、プレイスに足を運ばない方も含め、広く生涯学習の振興に努めた。</p> <p>* 自治体等の視察受け入れや、各メディアの取材を積極的に受け入れることで、武蔵野市のイメージアップやシビックプライドの醸成に貢献した。</p> <p>* 「プレイス・フェスタ」を館内全体で取り組み、プレイスの理念・目的を職員全体で改めて認識しながら、市民に広く武蔵野プレイスを体感してもらう機会として、まちの活性化にも寄与した。</p>			
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応		
	* 令和4年4月に統合によって誕生した「(公財)武蔵野文化生涯学習事業団」の効果的な広報や、両事業団が持っていた資源を有機的に結びつけた新しい事業展開について検討していただきたい。	* 合併を機に行ったホームページのリニューアルでは、より市民が情報を得やすいよう両事業団ホームページの内容の精査を行った。文化と生涯学習を連携した深い学びの提供につながる事業を実施する工夫を行った。		
利用者満足度	<利用者アンケートの総合満足度> 89.1%			
	<p>* 利用者アンケートの結果、R2年度以降、総合満足度 95.9→93.6→89.1 と推移しているが依然として高評価を得ている。</p> <p>* コロナ禍により利用者数はコロナ前の水準には及ばないものの、令和3年度を上回り年間 140 万人を超えた。</p>			
施設利用状況	○年間来館者数 (人)			
	令和4年度	令和3年度	増減数	増減率
	1,440,450	1,288,692	151,758	11.8%
	○令和4年度利用状況			
		利用数	操業数	利用率 (%)
フォーラム	1,188	1,762	67.4%	
ギャラリー	492	921	53.4%	
スペースA	668	921	72.5%	

スペースB	651	921	70.7%
スペースC	544	921	59.1%
スペースD	578	921	62.8%
スペースE	558	921	60.6%
サウンドスタジオA	147	896	16.4%
サウンドスタジオB	58	898	6.5%
パフォーマンススタジオ	16	238	6.7%
クラフトスタジオ	122	1,160	10.5%

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、サウンドスタジオ・クラフトスタジオは令和4年4月～5月は利用中止。パフォーマンススタジオは令和4年4月～11月は利用中止とした。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、サウンドスタジオ・パフォーマンススタジオ・クラフトスタジオは令和4年度中、定員数や用途について利用制限を行っていた。

評価対象年度	今回 (令和4年度)	(令和3年度)	(令和2年度)
総合評価	A	S	—
総括 (総合評価の理由)	<p>* 総合満足度の指数は89.1と引き続き高い評価を得た。</p> <p>* コロナ禍により利用者数はコロナ前よりは減少しているが、令和3年度を上回り年間140万人を超えた。コロナ対策により制限をしていた施設の再開に計画的に取り組み、時期に合わせて対策緩和を進めた。また、オンライン講座などの取り組みも継続した。</p>		
評価すべき点	<p>* デジタルサイネージを活用した動画をプレイスのほか体育館、吉祥寺図書館でも展開し、プレイスに足を運ばない方も含め、広く生涯学習振興に努めた。</p> <p>* 自治体等の視察受け入れや、各メディアの取材を積極的に受け入れることで、武蔵野市のイメージアップやシビックプライドの醸成にも貢献した。</p> <p>* 施設の役割を市民に伝える事業として「プレイス・フェスタ」に館内全体で取り組み、イベントを通じてまちの活性化にも寄与した。</p> <p>* キャッシュレスシステムの導入など利用者の利便性の向上に努めた。</p>		
改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項	<p>* 利用者アンケートにおける「意見・要望・苦情等の述べやすさ」や、「意見・要望・苦情を受けた職員の対応」の満足度（「満足」と「概ね満足の合計」）が他の項目に比べ低い。早期に改善の取り組むなどの対応も実施しているとのことだが、利用者に寄り添う接遇のさらなる向上を目指して欲しい。</p>		

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設の名称	No.29 武蔵野市立吉祥寺図書館	
主管課	教育部 図書館	
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団	
一次評価結果	〈指定管理者〉 92/100	〈主管課〉 92/100
アピール点	<p>*エレベーター交換工事等に伴う長期部分休館（9/1～11/11）による利用者へのサービス低下を最小限にとどめるため様々な工夫を実施し評価の声をいただいた。</p> <p>*吉祥寺活性化協議会への参加、意見交換で得られた情報を、吉祥寺図書館運営の特色に活かすとともに、以前から要望が多かった図書館における地域情報発信に向けて新たにチラシラックを設置し、市民・来街者への吉祥寺の情報発信の強化・充実の一助となり、これまで以上に吉祥寺のまちとの連携が強まった。</p> <p>*吉祥寺美術館や吉祥寺シアターとの連携図書展示に加え、映画会での吉祥寺美術館学芸員による解説トークの実施、吉祥寺シアターの公演に使用する映像への図書館員の参加など、地域の文化活動を盛り上げる取組みを行い、武蔵野文化生涯学習事業団の合併効果が表れた。</p> <p>*利用者アンケートの「満足」「概ね満足」の合計が 96.1%と非常に高い評価が得られている。指定管理開始から5年間の中で最も高い評価となった。</p>	
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応
	<p>*引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に取り組み、安全・安心な施設運営に努めるとともに、コロナ禍の制約の中においても最大限可能な範囲で適切なサービス提供ができるよう市と協議を行っていただきたい。</p> <p>*吉祥寺の駅前情報拠点として、市民や利用者がどのような情報を求めているかを把握し、地域に密着した効果的な情報提供が行えるよう改善に取り組んでいただきたい。</p> <p>*来街者を含む幅広い年代の方やファミリー層が、より利用しやすい施設となるような工夫を検討していただきたい。</p>	<p>*感染症対策を行いながら、予定したすべての事業を対面で行うことができた。</p> <p>*吉祥寺活性化協議会への参加や武蔵野市観光機構との情報交換により地域ニーズを把握することで、「吉祥寺アニメーション映画祭」をはじめとする連携イベントを計画的継続的に実施した。</p> <p>*乳幼児とその保護者同士の交流を目的に行う「あかちゃんオアシス」を実施し、職員も参加することで読書相談や利用者の生の意見に直接触れる機会となっている。SNS 世代に向けて Twitter で「YA 担当のひとりごと」を定期配信し、図書館との距離を縮める取組みを行っており、リツイートやいいねといった反響が得られている。「まなびとつどのへや」自習開放情報の Twitter 発信を開始し、幅広い利用層に対する利便性の向上に努めている。</p>

利用者満足度	〈利用者アンケートの総合満足度〉 94.5%			
	*利用者アンケートの「満足」「概ね満足」の合計が96.1%と非常に高い評価が得られている。指定管理開始から5年間の中で最も高い評価となった。			
施設利用状況	○来館者数			
		令和4年度	令和3年度	前年度比較
	開館日数(日)	303	304	-1
	来館者数(人)	449,867	466,061	-16,194
	1日平均来館者数(人)	1,485	1,533	-48

評価対象年度	今回(令和4年度)	(令和3年度)	(令和2年度)
総合評価	A	B	—
総括 (総合評価の理由)	*総合満足度の指数は、令和4年度94.5(令和3年度80.8)となり、「満足」「概ね満足」の占める割合が指定管理者制度導入後、最も高くなった。 *利用者意見への対応やまちの魅力向上に資する活動に努めるなど、設置目的に適う運営を通じて市民の満足向上を図った。		
評価すべき点	*エレベーター交換工事等に伴う長期部分休館(9/1~11/11)による利用者へのサービス低下を最小限にとどめるため、館内での図書展示の代替として図書紹介展示事業をWeb上で実施したり、館内で行えない「おはなし会」をアウトリーチ事業として0123はらっぱで開催するなど様々な工夫に取り組んだ。 *吉祥寺のまちづくりへの貢献を念頭に、連携イベントや情報発信に積極的に取り組んだ。		
改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項	*図書の蔵書数・種類の満足度が高項目に比べて低いため、市民のニーズを把握し選書に反映させるなど引き続き満足度の向上に努められたい。		



令和5年度 武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果報告書

令和5年8月

武蔵野市 総合政策部 企画調整課  
東京都武蔵野市緑町2-2-28  
電話番号 : 0422-60-1801